

テビケイ[®]を 服用される 患者さんへ

服用のてびき

 Tivicay[®]



病院名

企画：ヴィーブヘルスケア株式会社／東京都港区赤坂1-8-1

TVXT0401-P1802N
TV-C-0002 (V02)
改訂年月2018年2月 (MK)
(増刷年月2020年2月)

ヴィーブヘルスケア株式会社  シオノギ製薬

◎ はじめに

この「テビケイ[®]服用のてびき」は、テビケイ[®]を飲み始める方のために、この薬の特徴や服用方法、気をつけなくてはならないことなどを解説したものです。この薬について、あるいは治療などについてわからないことや不安なことがあれば、主治医や薬剤師、看護師などの医療スタッフにご相談ください。

また、服用開始前後の体調変化や気になることがあっても、自分の判断で服用を中止したり薬の量を少なくしたりしないで、必ず医療スタッフにご相談ください。

ささいなことでも「こんなこと聞いても大丈夫かな」と心配する必要はありません。医療スタッフはあなたのことをいつでも応援してくれています。



◎ テビケイ[®]とは？

商品名 テビケイ[®]錠50mg

一般名 ドルテグラビルナトリウム

(成分の名称)

分類 インテグラーゼ阻害剤と呼ばれる系統の薬です。必ず他のHIV感染症治療薬と併用する必要があります。

外観 黄色の錠剤(直径約9.1mm、厚さ約4.7mm)、表面には「SV572」、裏面には「50」と刻印があります。

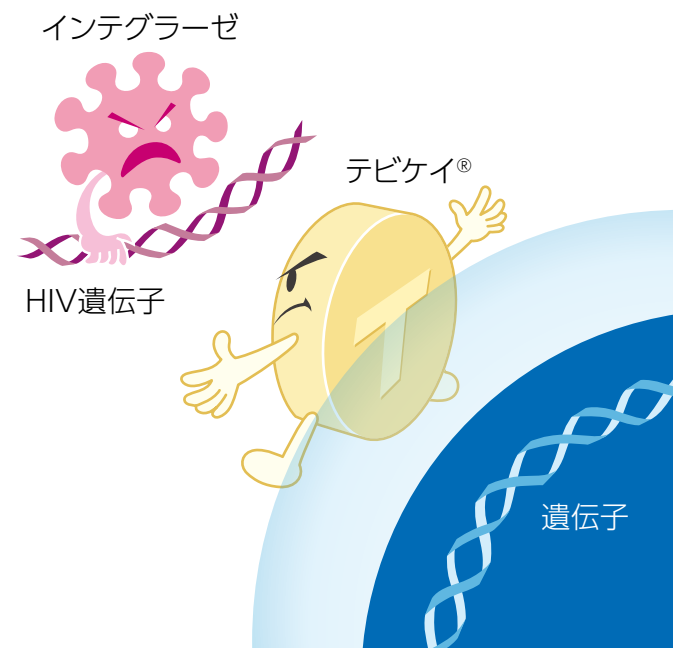


(実物大)

保存方法 直射日光を避け、室温(30℃以下)で保存してください。子供の手の届かないところに保管してください。

働き HIV感染症の治療に使用する薬です。HIV量が増加するのを抑える働きがあり、血液の中のHIV量を減少させ、免疫力が弱まるのを防ぐ働きがあります。テビケイ[®]は、HIV遺伝子を人の遺伝子に組み込むインテグラーゼ*の働きを抑え、HIVの増殖を防ぎます。

* HIV遺伝子が人の遺伝子に侵入する際に必要な酵素



◎ 飲み方は？

服用量および回数

テビケイ®の飲む量と回数は、あなたの症状などに合わせて医師が決めますので、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

通常、成人の飲む量および回数は、下記のとおりです。

必ず他のHIV感染症治療薬と併用します。

	1回量	飲む回数
HIV感染症治療薬の治療経験のない人・ インテグラーゼ阻害薬以外の HIV感染症治療薬の治療経験のある人 (12歳以上及び体重40kg以上の小児を含む)	1錠	1日1回
インテグラーゼ阻害薬に耐性のある人	1錠	1日2回

飲み忘れた場合の対応

気付いた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

決して2回分を一度に飲まないでください。

多く服用した時(過量使用時)の対応

気付いた時に、医療スタッフに相談してください。



◎ 飲み合わせ、食べ合わせは？

食 事

食事の前、後、空腹時のいつ飲んでも、効果は変わりません。食事内容で気を付けなければならないことはありません。自分の体調に気を配り、偏りのない食事を心がけてください。

他の薬

常用している薬（漢方薬も含む）がある場合や、風邪やその他の理由で他の薬を飲みたい場合は、必ず飲む前に医療スタッフに相談してください。医師から処方された薬だけでなく、薬局で買った市販薬も、飲む前に必ず医療スタッフに相談してください。

健康食品・サプリメント

飲んでいる健康食品やサプリメントがあれば、医療スタッフに伝えておきましょう。また、テビケイ®を飲んでいる間に、新たに健康食品やサプリメントを飲む、あるいはこれまで飲んでいた健康食品やサプリメントを止める場合には、必ず飲んだり止めたりする前に医療スタッフに相談してください。

医療スタッフに伝えてほしいあなたの情報

- 過去に薬（テビケイ®を含む）を飲んで発疹や発熱などのアレルギー症状を起こしたことがある人は、そのことを必ず伝えてください。
- 妊娠を予定している、あるいは妊娠していたり授乳している場合は、そのことを必ず伝えてください。
- 持病がある場合は、そのことを必ず伝えてください。特に、アレルギー、肝臓の病気（B型・C型肝炎をわずらったことがある）、心臓の病気、腎臓の病気がある場合は、そのことを必ず伝えてください。
- いつも服用している薬や健康食品・サプリメントがあれば、必ず伝えてください。



◎ 副作用は？

副作用の発現には個人差があります。何か体の異常を感じたり、いつもと違うと感じた場合には、すぐに医療スタッフに相談してください。

テビケイ®の副作用の主なものは、**悪心(吐き気)、下痢、頭痛**などです。

上記以外の症状が出る場合もありますので、異常を感じたら必ず医療スタッフに相談してください。また、自覚症状を伴わない副作用(臨床検査値の異常など)が起こる場合もありますので、必ず定期的に病院に通いましょう。

特に注意すべき症状について

テビケイ®を飲んだ患者さんに薬剤性の過敏症(発疹、全身症状)が起こることがあります。

発疹、発熱、さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、しびれ、判断力の低下などの症状があらわれた場合には、ただちにテビケイ®の服用を中止し、医療スタッフに連絡してください。



あなたの処方

あなたの処方が決まったら、忘れないように下に記録しましょう。

薬の組み合わせ

テビケイ®と

A

と

B

スケジュール

時間	薬の名前	1回服用数
:		
:		
:		
:		
:		
:		

◎ 服用チェックシート

※該当する症状があらわれた場合、○をつけましょう

服用日	服用チェック (きちんと服用できたら○を、 できなかつたら×を書きましょう)			発疹はありましたか？	発熱はありましたか？	吐き気、嘔吐、下痢は ありましたか？	頭痛、めまいは ありましたか？	疲労、無力感 はありましたか？	副作用の具体的症状や その他の体調の変化、 それ以外にも気になる ことがあれば記入して ください。
	テビケイ [®]	併用薬 A	併用薬 B						
例) ○月○日	○	○	○			○		○	
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									
月 日									

毎日の服用に慣れるまで、上記のチェックシートを毎日記入しましょう。また、服用開始からしばらくの間は、副作用が出やすいものです。体調の変化などがあれば、シートに記入し、次回受診時に医療スタッフに見せてください。

テビケイ[®]による過敏症と考えられる症状が見られた場合には、次回受診時まで待たずにすぐに医療スタッフに連絡してください。またその他の副作用でも、つらいときは無理せずに医療スタッフに連絡してください。

